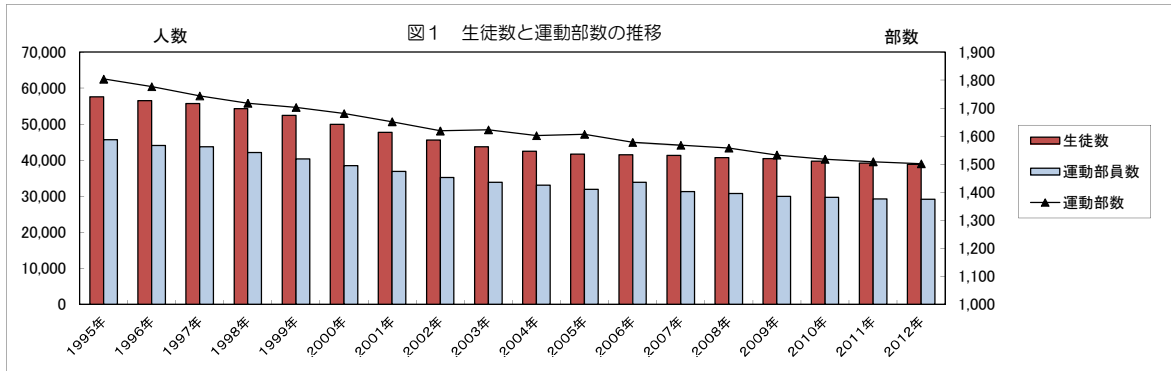


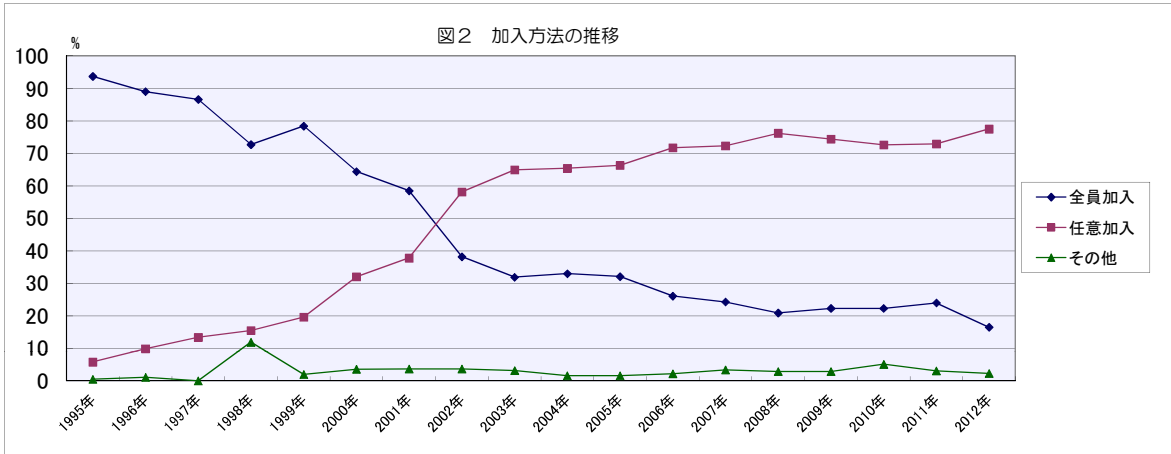
1 生徒数と運動部数の推移

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
生徒数	57,613	56,497	55,708	54,330	52,405	49,964	47,745	45,595	43,723	42,498	41,729	41,528	41,300	40,706	40,415	39,717	39,233	38,888
運動部員数	45,687	44,051	43,715	42,164	40,369	38,490	36,919	35,184	33,852	33,060	31,891	33,865	31,300	30,767	29,969	29,677	29,263	29,177
運動部数	1,804	1,777	1,744	1,718	1,703	1,681	1,652	1,619	1,623	1,602	1,607	1,578	1,568	1,558	1,533	1,518	1,509	1,502



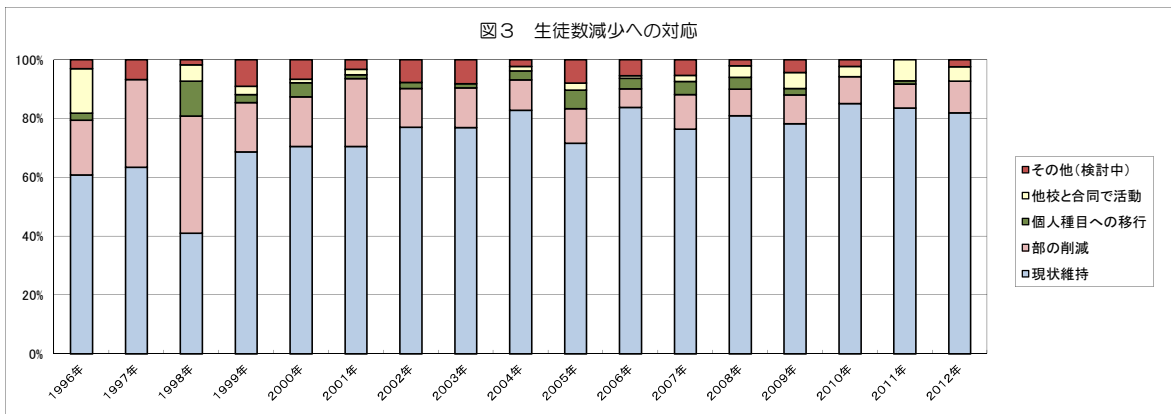
2 加入方法の推移

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
全員加入	93.7	89	86.6	72.7	78.4	64.4	58.5	38.2	31.9	33	32.1	26.1	24.3	20.9	22.3	22.3	24	16.5
任意加入	5.8	9.9	13.4	15.5	19.6	32	37.8	58.1	64.9	65.4	66.3	71.7	72.3	76.2	74.4	72.6	72.9	77.5
その他	0.5	1.1	0	11.9	2	3.6	3.7	3.7	3.2	1.6	1.6	2.2	3.4	2.9	2.9	5.1	3.1	2.3



3 生徒数減少への対応

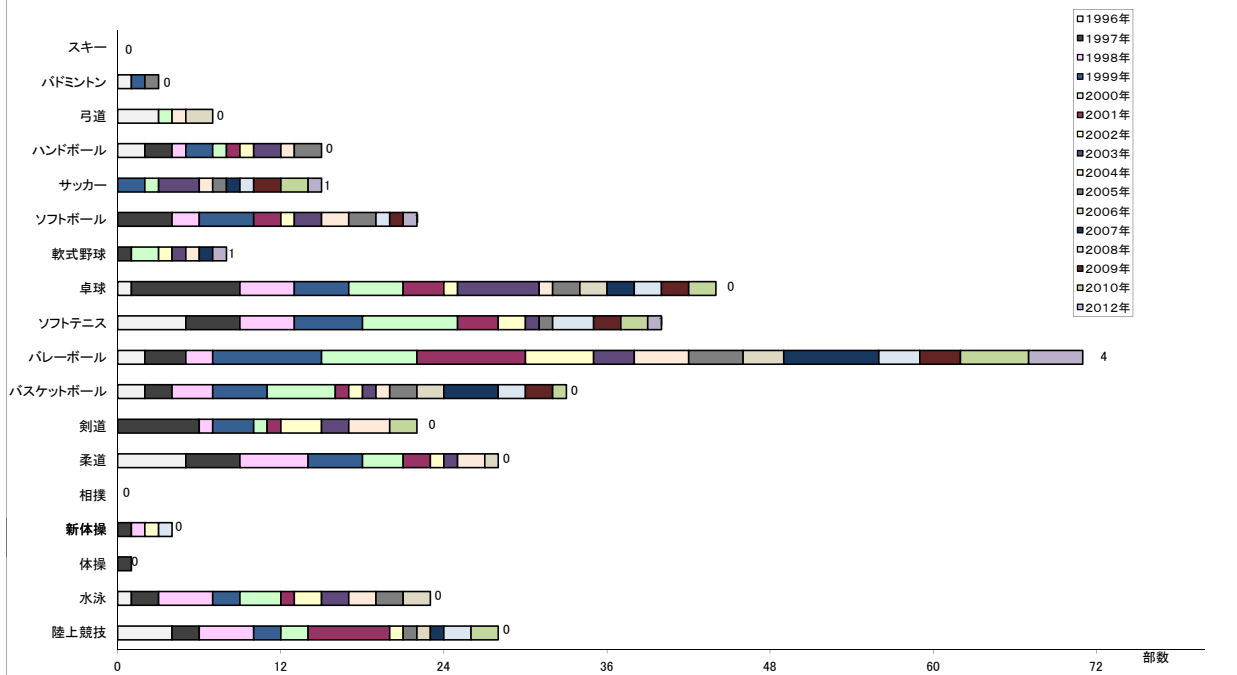
	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
現状維持	60.8	63.5	41	68.8	70.5	70.5	77.1	77	82.8	71.7	88.8	40.2	81	72	85.1	83.6	81.9
部の削減	18.7	29.8	39.9	16.7	16.9	23.1	13.2	13.5	10.4	11.8	6.7	6.2	9	9	9.2	8.2	10.8
個人種目への移行	2.4	0	11.8	2.8	4.8	1.3	2.1	1.4	3	6.3	3.8	2.3	4	2	0	1	0
他校と合同で活動	15.1	0	5.6	2.8	1.2	1.9	0	0	1.5	2.4	0.9	1.1	4	5	3.4	7.2	4.8
その他(検討中)	3	6.7	1.7	9	6.6	3.2	7.7	8.1	2.3	7.9	5.7	2.8	2	4	2.3	0	2.4



4 廃部種目数の推移

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
陸上競技	4	2	4	2	2	6	1	0	0	1	1	1	2	0	2	0	0
水泳	1	2	4	2	3	1	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0
体操	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新体操	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
相撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道	5	4	5	4	3	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
剣道	0	6	1	3	1	1	3	2	3	0	0	0	0	0	2	1	0
バスケットボール	2	2	3	4	5	1	1	1	1	2	2	4	2	2	1	0	0
バレーボール	2	3	2	8	7	8	5	3	4	4	3	7	3	3	5	5	4
ソフトテニス	5	4	4	5	7	3	2	1	0	1	0	0	3	2	2	0	1
卓球	1	8	4	4	4	3	1	6	1	2	2	2	2	2	2	1	0
軟式野球	0	1	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1
ソフトボール	0	4	2	4	0	2	1	2	2	2	0	0	1	1	0	0	1
サッカー	0	0	0	2	1	0	0	3	1	1	0	1	1	2	2	1	1
ハンドボール	2	2	1	2	1	1	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
弓道	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
バドミントン	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
スキー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	40	31	41	37	28	20	24	19	18	13	16	15	12	16	9	8

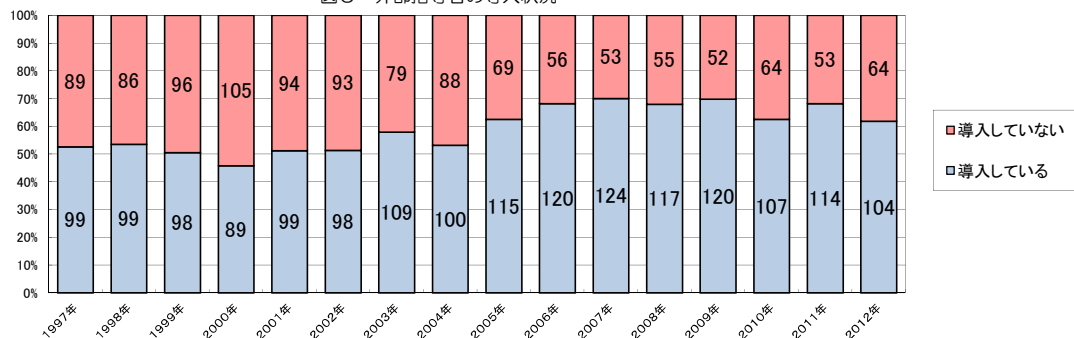
図4 廃部種目数の推移



5 外部指導者の導入状況

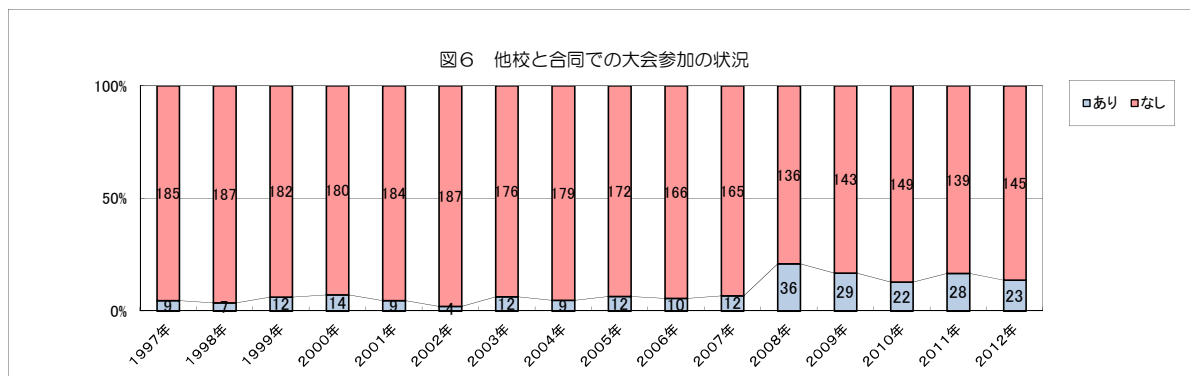
	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
導入している	99	99	98	89	99	98	109	100	115	120	124	117	120	107	114	104
導入していない	89	86	96	105	94	93	79	88	69	56	53	55	52	64	53	64

図5 外部指導者の導入状況



6 他校と合同での大会参加の状況

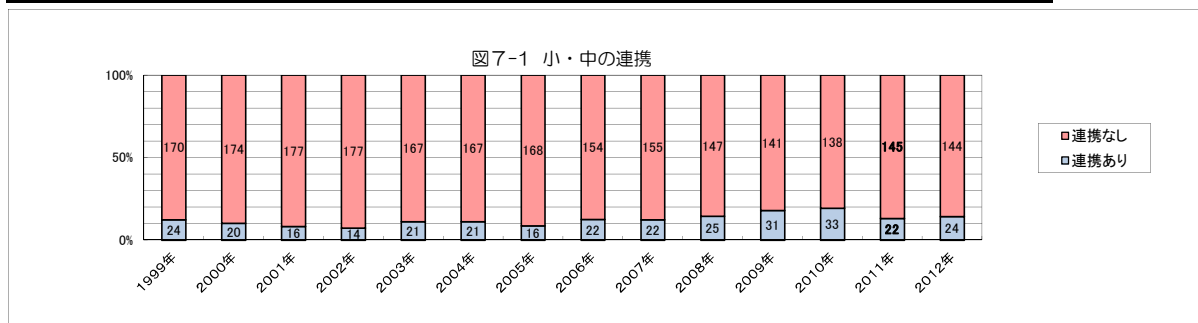
	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
あり	9	7	12	14	9	4	12	9	12	10	12	36	29	22	28	23
なし	185	187	182	180	184	187	176	179	172	166	165	136	143	149	139	145



7 小・中・高、地域との連携

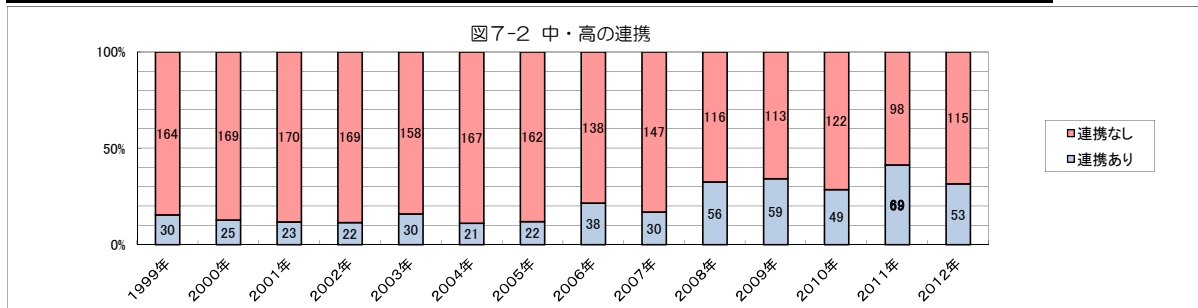
(1) 小・中の連携

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
連携あり	24	20	16	14	21	21	16	22	22	25	31	33	22	24
連携なし	170	174	177	177	167	167	168	154	155	147	141	138	145	144



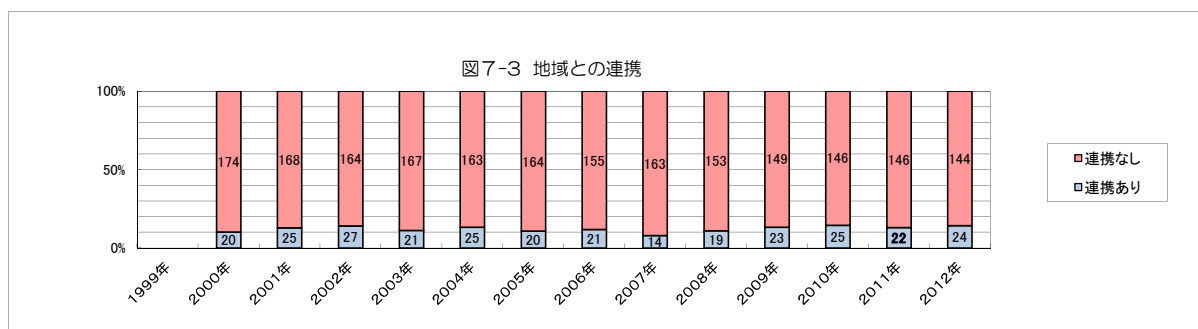
(2) 中・高の連携

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
連携あり	30	25	23	22	30	21	22	38	30	56	59	49	69	53
連携なし	164	169	170	169	158	167	162	138	147	116	113	122	98	115



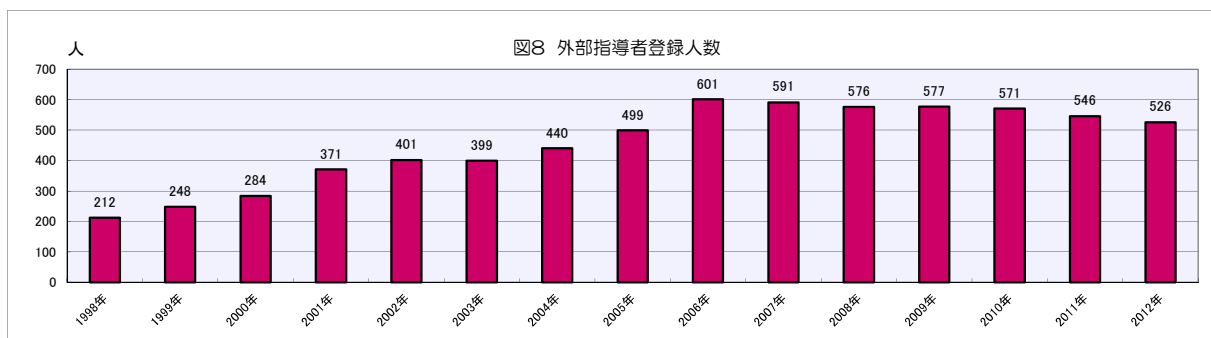
(3) 地域との連携

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
連携あり		20	25	27	21	25	20	21	14	19	23	25	22	24
連携なし		174	168	164	167	163	164	155	163	153	149	146	146	144



8 外部指導者登録人数

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
外部指導者登録人数	212	248	284	371	401	399	440	499	601	591	576	577	571	546	526



2 平成24年度 実態調査1集計結果

1 生徒数と運動部数の推移

生徒数・運動部員数・運動部数については、昨年度比で生徒数365人減、運動部員数86人減、運動部数8減となっており、ゆるやかではあるが、生徒数・運動部員数・運動部数の減少傾向は依然として続いている。

2 加入方法の推移

加入方法については昨年度比で全員加入が7.5ポイント減16.5%、任意加入が4.6ポイント増の77.5%、2008年以来、全員加入の形態がゆるやかな増加傾向にあったが、今年度は減少した。社会教育活動の普及にともない、全員加入は難しい現状であるが。一方では生徒数の減少にともない、部の運営が困難であるため、全員加入制をとる学校や、中1ギャップ解消のため、1年生のみ全員加入を行う学校があった。

3 生徒数減少への対応

生徒数減少についての対応では、昨年度比で現状維持が1.7ポイント減の81.9%、部の削減が10.8%、個人種目への移行する学校はなかった。他校と合同で実施が2.4ポイント減の4.8%、その他が2.4%であり、生徒・担当教員減の状況を部の削減や休部・合同チームによる活動機会の拡大という形で、何とか対応されている様子がうかがえる。

4 廃部種目数の推移

廃部種目の推移は今年度、ソフトテニス1、バレーボール4、軟式野球1、ソフトボール1、サッカー1の計8の部が廃部となっている。特にバレーボールは95年以来廃部数が最も多く、次いで卓球となっている。また、郡部のみならず防府・山口・下関といった都市部でも廃部が増えている。

5 外部指導者の導入状況

外部指導者の導入状況は、昨年度比7校増の104校で導入し、64校が導入していないという結果であった。登録者数は昨年度より20名減の526名となっている。郡部では外部指導者を希望しているが、該当者がなかなか見つからないという状況が見られた。

6 他校と合同での大会参加の状況

他校と合同での大会参加については、2008年以降、毎年20チームをこえる合同チームができ、今年度も23チームあった。部活数の減少にともなう運動機会拡大措置や、合同チーム規定が見直され、A校+B校=AB校プラス人数の多い学校Aの2チーム参加可と変更になった取り組みが定着しつつあるものと思われる。

7 小・中・高、地域との連携

小学校との連携は2校増の24校、高校との連携は13校減の53校となった。地域との連携は昨年並みの24校となった。高校との連携が大きく減った理由として、国体が終了し、指導者の異動等もあり、中高での連携が難しくなったと考えられる。

8 外部指導者の導入状況

外部指導者の導入状況は2006年が最多で約600人、それ以降毎年減少傾向にある。これも生徒数減による運動部活動数の減少に伴って緩やかに減少したと考えられる。(平成24年度は526人)

9 実態調査を終えて

1995年から実施の実態調査1も今年で18回目の調査となり、運動部活動に関する実態の移り変わりが細かに見て取れるデータが揃ってきた。県中体連では『望ましい運動部活動の実戦に向けて』というテーマで、ここ数年は外部指導者の活用や外部機関(社会体育団体)との連携、あるいは小・中・高の連携など、様々な可能性を模索中である。

実態調査からも分かるように生徒数、部活動数の減少傾向はしばらく続くと考えられる。さらには昨年度は山口国体も終わり、中高連携して競技力を向上させようとする学校も減りつつあり、今後の部活動の運営方法についてさらに工夫をしていかなければならないであろう。